

報 道 資 料

平成29年11月 2日

地域福祉課 地域福祉推進係
担当 北村、神田
ダイヤル 0742-27-8503
内線 2818

平成29年度の奈良介護大賞が決まりました！

地域社会における支え合いの文化づくりにつながる介護の実践事例を募集し、優良事例を表彰する「奈良介護大賞」につきまして、この度、本年度の受賞者の方々が下記のとおり決定いたしましたのでお知らせします。

なお表彰式は、11月3日（金・祝）12時55分より、なら100年会館で実施される啓発イベント「なら介護の日 2017」において行います。

奈良介護大賞

○ 劇団D-ポケットさくら（桜井市）

劇団D-ポケットさくらは、地域住民に認知症についての正しい知識を学んでもらうことを目指し、医療職や介護職に関わる人や元教師の方を中心に結成された劇団です。認知症の方に対して、周囲の人たちがどのように接していけばよいか大人も子どもも理解し、楽しめるオリジナルの寸劇を上演しておられます。認知症を理解してもらうための啓発活動はどうしても重くなりがちのため、明るくコミカルな劇になるように演出を工夫しておられます。劇団のメンバーの中には、地域の住民の方も参加しているため、単なる認知症の啓発活動にとどまらず、地域コミュニティの活性化にも繋がっています。



あたたか介護賞

○ 西八尾自治会（田原本町）

田原本町の西八尾自治会では、高齢者を孤独にさせないように様々なサークル活動に力をいれています。また、少子高齢化が進む中、子どもからお年寄りまで多世代での地域交流にも積極的に取り組んでおられます。自治会組織を基盤に、住民参加型の様々な活動を行っている点は、地域での支え合いの事例として他の自治体での取り組みの参考になるものです。



○ 福祉支え合いセンターのどか（生駒市）

福祉支え合いセンターのどかは、福祉・医療に関する情報発信ステーションです。介護保険サービスのパンフレットや認知症に関する資料、地域住民による自主活動の案内などが置かれているほか、社会福祉法人 長命荘の専門職員が、介護に関する相談を受け付けています。これらにあわせて、気軽に立ち寄れる雰囲気づくりをおこなうことで、情報提供・相談・交流を通じた地域でのネットワーク作りを担っています。



○ カフェきせき・カフェだんご（奈良市）

カフェきせきは認知症カフェとして、カフェだんごは高齢者サロンとして、介護関係者の有志の皆様により立ち上げられました。カフェきせきは、高齢者の方々自身の利用だけでなく、そこに携わる家族や地域の人々、専門職員同士の交流・情報交換の場となっています。カフェだんごは、全ての高齢者が住み慣れた場所で過ごしていける地域作りを目指し、気軽に立ち寄れる場、高齢者の社会参加を促進させる場となっています。

